取扱説明書

(20-11)
保管用

高調波ガイドライン適合品

ブラケット
(壁付専用型)
ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品番	適合ランプ	
BF-2021	コンパクト蛍光ランプFHT 42Wx1(GX24q-4)	AC100V(±6%)

この取扱説明書のマークについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、必ず守ってください。
🚫 このマークについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

● 取り付け　取扱い上の注意

⚠警告

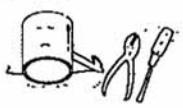
一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。
- 壁面以外の場所。
- 補強材の無い場所への取付け。（ボックスに取り付ける場合を除く）。
- 石膏ボードなど弱い建材面への取り付け。
- 樹脂製ボックスカバーへの取り付け。
（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属性ボックスカバーに取り付けてください）。
★いずれの場合も器具の落下による事故、その他の破損やケガの原因となります。
- 凸凹のある面には取り付けないでください。
★防水性が損なわれ、漏電や感電事故の原因となります。

取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下によるケガの原因となります。

ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。



器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠注意

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

❗ ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラつきなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

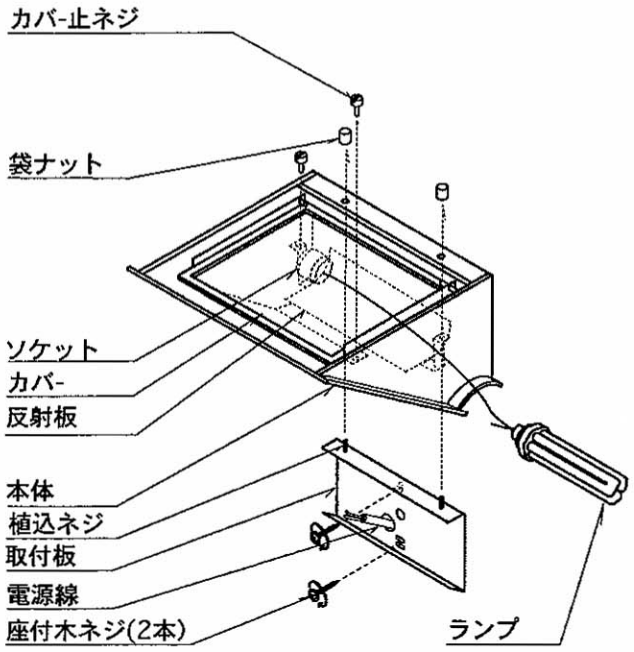
ヒビの入ったカバーや、一部の欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

● 各部の名称

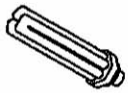
（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明サ-ビス受付窓口までご連絡ください。）

■ 器具構成図



■ 付属品

座付木ネジ ――― 2本
（取り付け金具用）



ランプ ――― 1個
FHT42EX

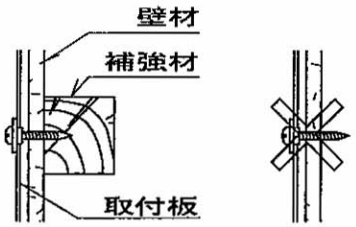
取扱説明書（本書） ――― 1枚

● 取り付け場所の確認

⚠ 警告

❗ 配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。



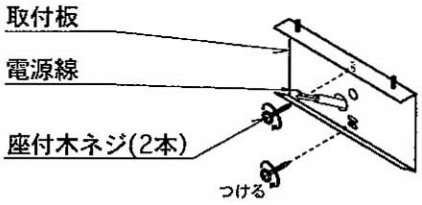
● 取り付け方 ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

❗ 端子に差し込むケ-ブルは、必ずＶＶＦΦ1.6またはΦ2.0の単線ケ-ブルで真っ直ぐな線を使用してください。
★指定以外のケ-ブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良よる火災、感電事故の原因となります。

● 器具を取り付ける前に。
袋ナットをはずし.本体から取付板を取りはずしてください。

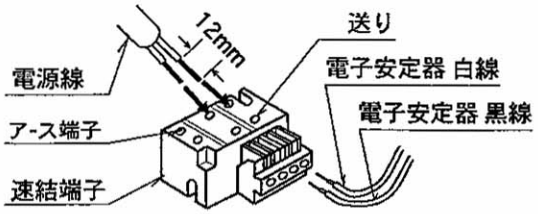
1、取付板を取り付けます。
付属の座付き木ネジ（2本）でしっかり締めて固定します。

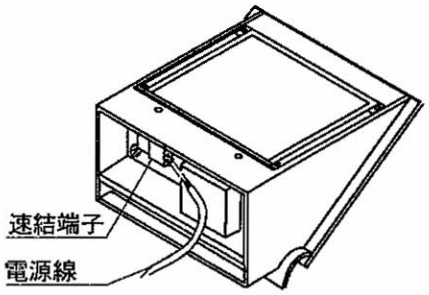


（図1）

2、電源線を接続します。

①電源線を速結端子のゲ-ジ（12mm）に合わせて剥ぎます。
②電源線を電線差し込み穴に差込みます。
＊電源線をはずす場合は、幅6mmのマイナスドライバ-をはずし穴へ真直ぐ差し込むとはずれます。

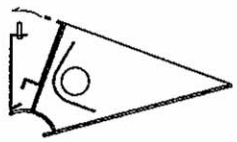




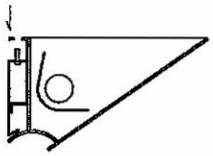
(図2)

3、本体の取り付け。(図3)

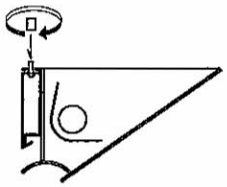
①本体下側を取付板に合わせて壁に押し付けます。

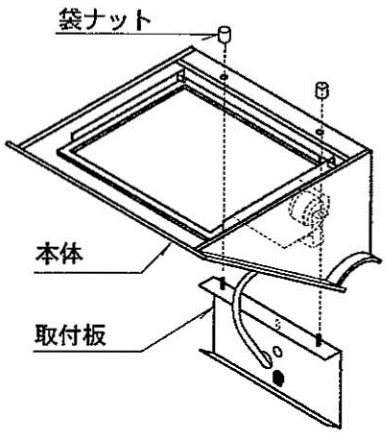


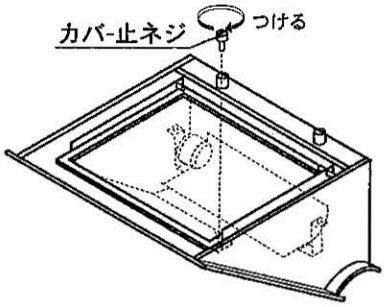
②本体を壁に合わせたまま下にずらします。



③本体を袋ナットで締め込みます。





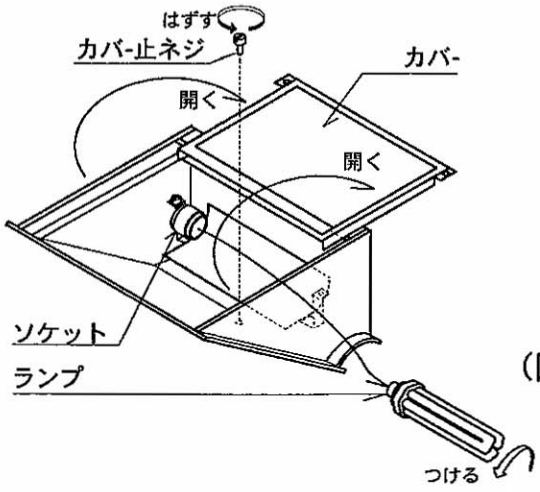


(図3)

4、ランプをセットします。(図4)

① カバ-止ネジをはずしてカバ-を開きます。
② ランプをソケットに合わせてねじ込みます。
③ カバ-を閉じカバ-止ネジを締付けてカバ-を固定します。

⚠ 注意 ⃠ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてケガをする恐れがあります。



(図4)

● スイッチ操作

壁スイッチにて　ON-OFF　操作を行います。

● お手入れについて ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

● こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠ 注意

❗ ● ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
★火災や感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後のランプは熱くなっています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、
またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。 ★火傷の原因となります。

● 濡れた手で触らないでください。 ★感電事故の原因となります。

● ランプは乱暴に扱わないでください。 ★ランプが割れて怪我をする恐れがあります。

● 適合ランプ以外のランプは使用しないでないでください。表紙の仕様欄を確認し、
正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱による火災の原因となります。

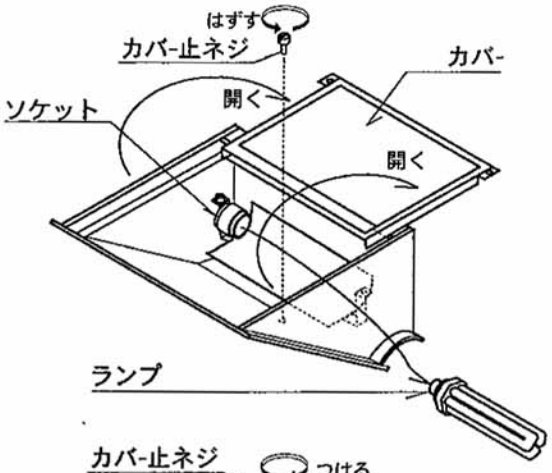
● シンナ-やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ-などは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換

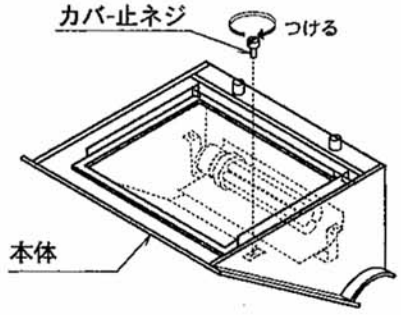
1 スイッチを切ります。

⚠ 注意 ⃠ ランプ交換時、ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2 ランプを交換します。
① カバ-止ネジをはずしてカバ-を開きます。
② ランプをソケットから外します。
③ カバ-を閉じカバ-止ネジを締付けてカバ-を固定します。

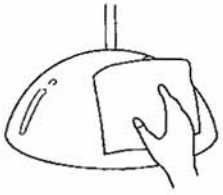


⚠ 注意 ⃠ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてケガをする恐れがあります。



◆お手入れのしかたについて

① スイッチを切ります。
② 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③ 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④ 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■ アフタ-サ-ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し
器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、
お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サ-ビス受付窓口にご相談ください。